

サントリー健康白書 2024

Suntory Group Health and Wellbeing Report 2024



SUNTORY

サントリー健康白書 2024

発行 サントリーホールディングス株式会社 サントリー食品インターナショナル株式会社



肥塚 真一郎

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役副社長
GCHO（健康管理最高責任者）



サントリアンの健康は、「やってみなはれ」の源

我々が健康経営で目指しているのは、従業員はもちろんご家族も含めた全員の「人間の生命の輝き」です。従業員とご家族が、健康でイキイキと毎日を送ることができ、やりがいをもって働ける、充実した生活であってほしいという願いが根幹にあります。この考え方に基づき健康経営を推進することが、グループのさらなる挑戦・未来につながると確信しています。

サントリーでは、健康診断の充実、さまざまな疾病につながる生活習慣病の予防を重点領域の一つとして幅広く取組み、各種施策を展開しています。また今後も、気軽に産業医や看護職に相談できる体制をさらに拡充して、日常的なサポートの充実にも取組みます。

一人ひとりの「健康自律」を基本としつつ、本人・会社・健保が三位一体となって健康維持・増進に取組み、心身の健康を土台に全員が仕事もプライベートも充実させていく姿を目指してまいります。

サントリーグループの企業理念

～わたしたちが大切にしていること～

わたしたちの目的 Our Purpose

サントリーグループが事業を営む目的、企業としてめざす方向性

人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、
「人間の生命の輝き」をめざす。

わたしたちの価値観 Our Values

目的を実現するために、すべての社員が大切にすべき価値観

Growing for Good

人として、企業として、社会のために成長し続けること。
成長し続けることで、社会を良くする力を大きくしていくこと。

やってみなはれ

失敗を恐れることなく、新しい価値の創造をめざし、
あきらめずに挑み続けること。

利益三分主義

事業活動で得たものは、自社への再投資にとどまらず、
お客様へのサービス、社会に還元すること。

サントリーの目指す健康経営

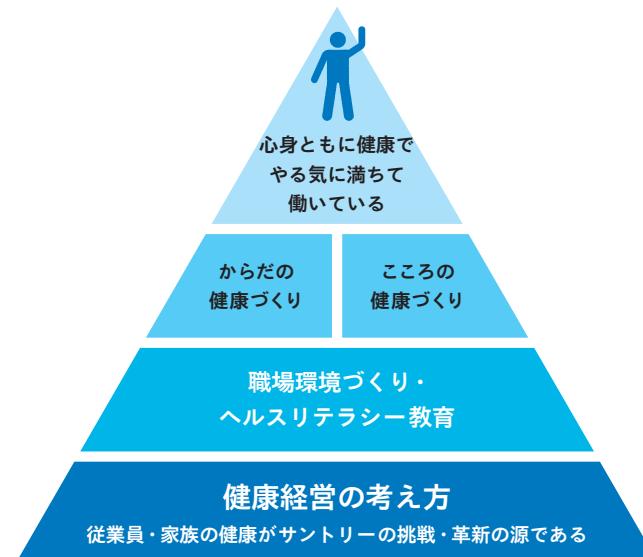
2014年に「健康づくり宣言」、2016年に経営層がGCHO(Global Chief Health Officer: 健康管理最高責任者)に就任し新たに「健康経営宣言」を行いました。

健康経営宣言 (2016年制定)

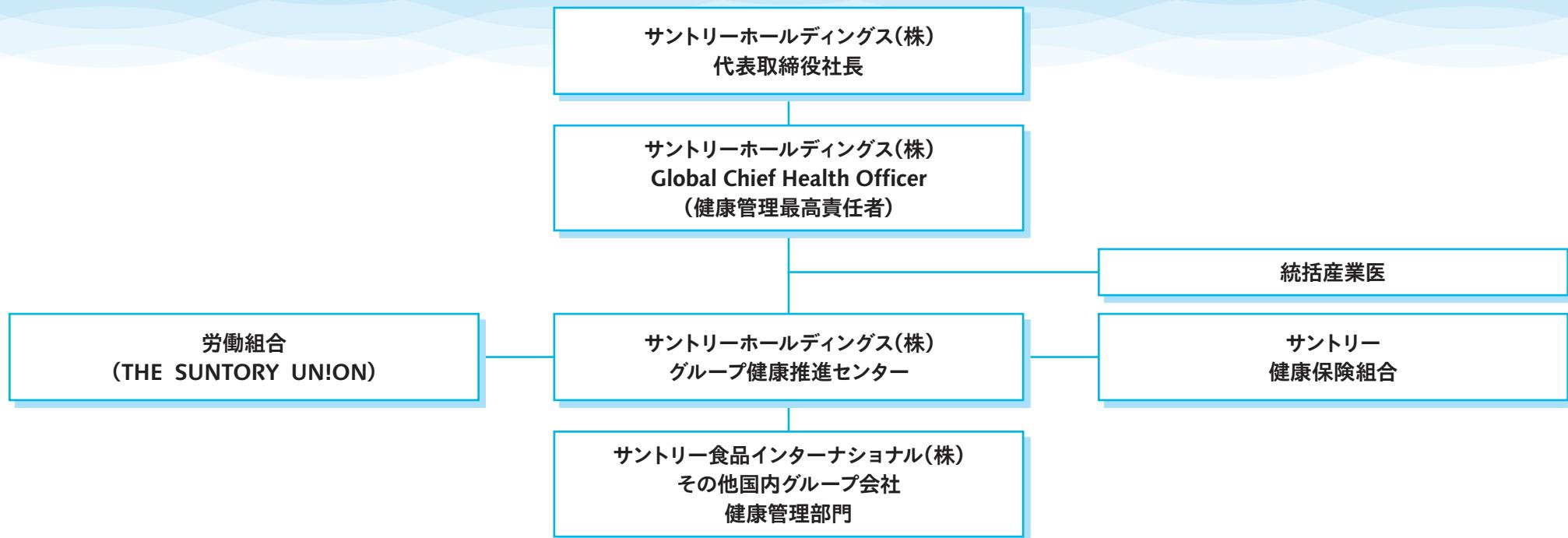
従業員・家族の健康がサントリーの挑戦・革新の源であるという考え方のもと、全従業員が心身ともに健康でやる気に満ちて働いている状態を目指します。

基本方針

- 職場の環境整備や働き方改革を通して、従業員の健康基盤づくりを推進します。
- 従業員への健康情報の提供や個別支援を通して、ヘルスリテラシー教育に取り組みます。
- 生活習慣の改善とともに予防、早期発見、両立支援など身体の健康づくりを推進します。
- 一人ひとりがメンタルヘルスを理解し、適切に心のケアができるよう支援します。
- 取り組みを通して従業員と家族の“人間の生命の輝き”的実現を目指します。



健康推進体制



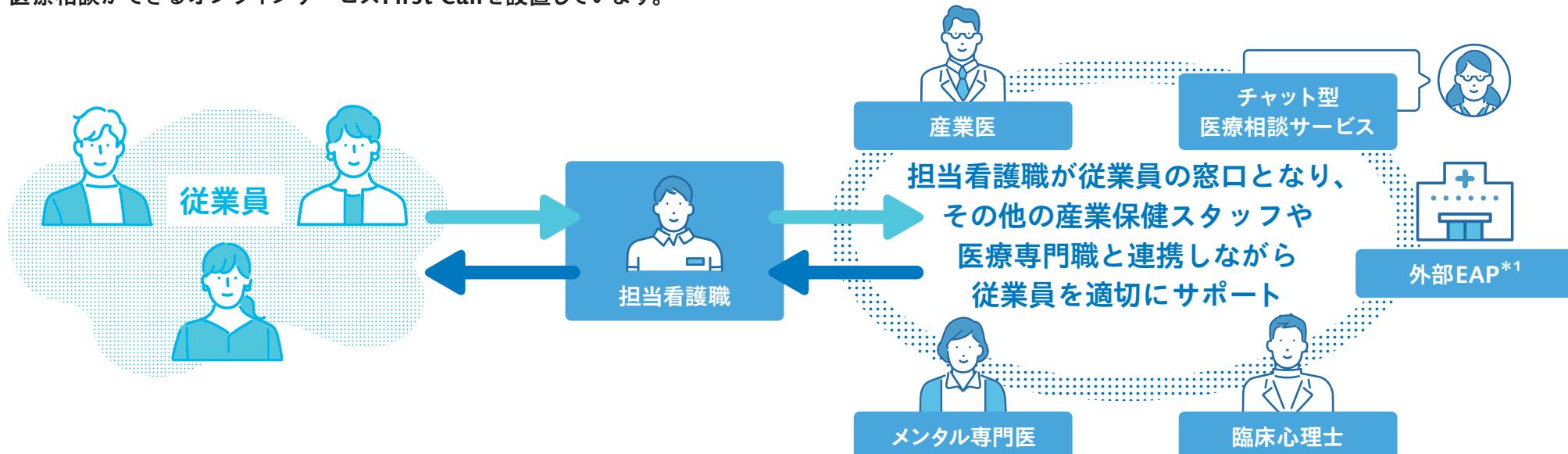
実施している主な健康会議

名称	おもな出席者	開催頻度	内容
経営層との協議会	● 代表取締役副社長(GCHO) ● 人事部門担当役員 ● 統括産業医	● 看護職 ● 健康管理部門担当者	年2回 会社の方針、健康状況の確認および今後の健康施策等に関する協議
健康管理推進委員会	● 健康保険組合 ● 統括産業医 ● 看護職	● 労働組合 ● 健康管理部門担当者	年3回 サントリー健康保険組合の保健事業・活動について、年間を通じての活動評価・意見交換を行う
グループ会社人事担当者会議	● グループ会社人事担当者 ● 看護職	● 健康管理部門担当者	年1回 各グループ会社従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全社安全衛生委員会	● 統括産業医 ● 労働組合	● 人事部門労務担当者 ● 健康管理部門担当者	年1回 労働組合本部と全社社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全国衛生管理者・推進者会議	● 各事業場の衛生管理者、衛生推進者 ● 統括産業医	● 看護職 ● 健康管理部門担当者	年1回 各事業場の社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議

健康相談対応の体制

サントリーでは全従業員を漏れなくサポートするため、看護職が全事業所を分担して受け持つ担当制を導入しています。担当の看護職が社員からの相談窓口となり、産業医、メンタル専門医、臨床心理士などが連携して社員の相談に対応し、健康に就労できるような支援を行います。

また、社内の産業保健スタッフだけでなく、外部相談窓口として、プライベートな家族の問題も含めて相談ができるEパートナー相談窓口や、24時間365日医療相談ができるオンラインサービスFirst Callを設置しています。



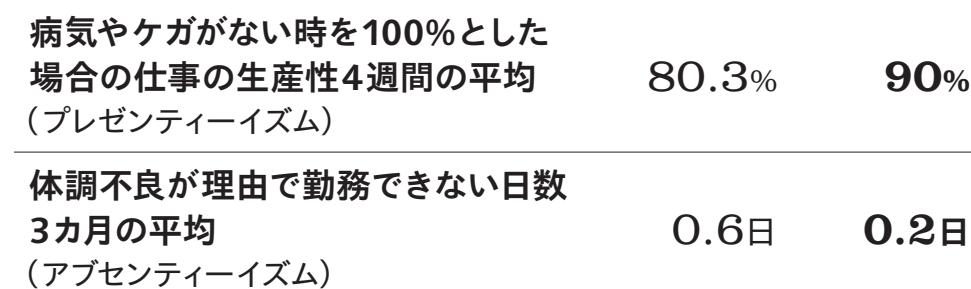
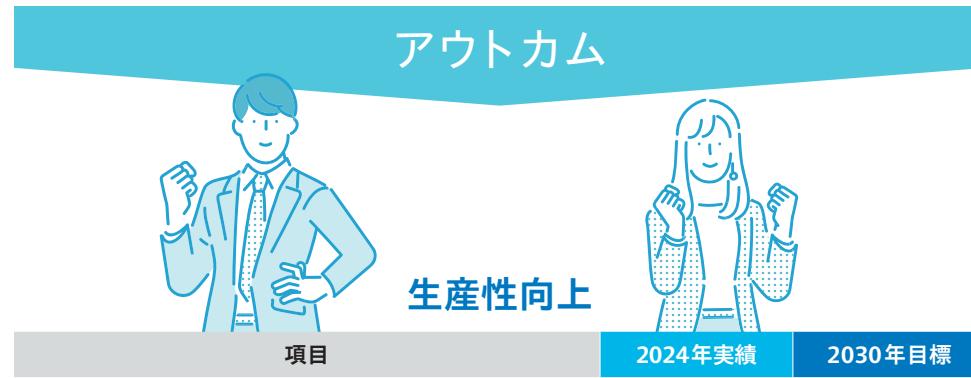
社内相談窓口	看護職	健康面談など社員との日々の接点を通して社員の一番身近な存在としてサポートします。
	産業医	統括産業医を中心に、定期健診の事後措置や各種面談指導や治療と仕事の両立支援などを行います。
	メンタル専門医	職場のメンタルヘルスに精通した精神科医が産業医や看護職と連携し、従業員をサポートします。
	臨床心理士	心理学の知識に基づいたカウンセリングを行い、悩みを抱える社員をケアし、問題を解決できるよう支援します。
社外相談窓口	EAP	プライベートや家族の問題などさまざまな悩みについて社外のカウンセラーに相談できる外部サービス
	チャット型医療相談サービス	24時間365日チャットやテレビ電話で気軽に医師に健康相談ができるオンラインサービス

*1 EAP(Employees Assistance Program):社外にいる事業者が提供する従業員支援プログラム。企業からの相談を受けて、ストレス診断・カウンセリング(電話相談・メール相談・対面)・医療勧奨・メンタルヘルスの教育研修・人事や管理者へのコンサルテーション・復職支援プログラムなどを行う。

※ 本誌の「サントリー」とは、サントリーホールディングス株式会社、サントリー食品インターナショナル株式会社、サントリーフーズ株式会社、サントリープロダクツ株式会社、サントリー株式会社、サントリーウエルネス株式会社、サントリービジネスシステム株式会社、サントリーシステムテクノロジー株式会社、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社を指します。

健康経営の重点項目と目標値

サントリーでは以下の項目を目標に掲げ、こころとからだの健康支援に取り組んでいます。



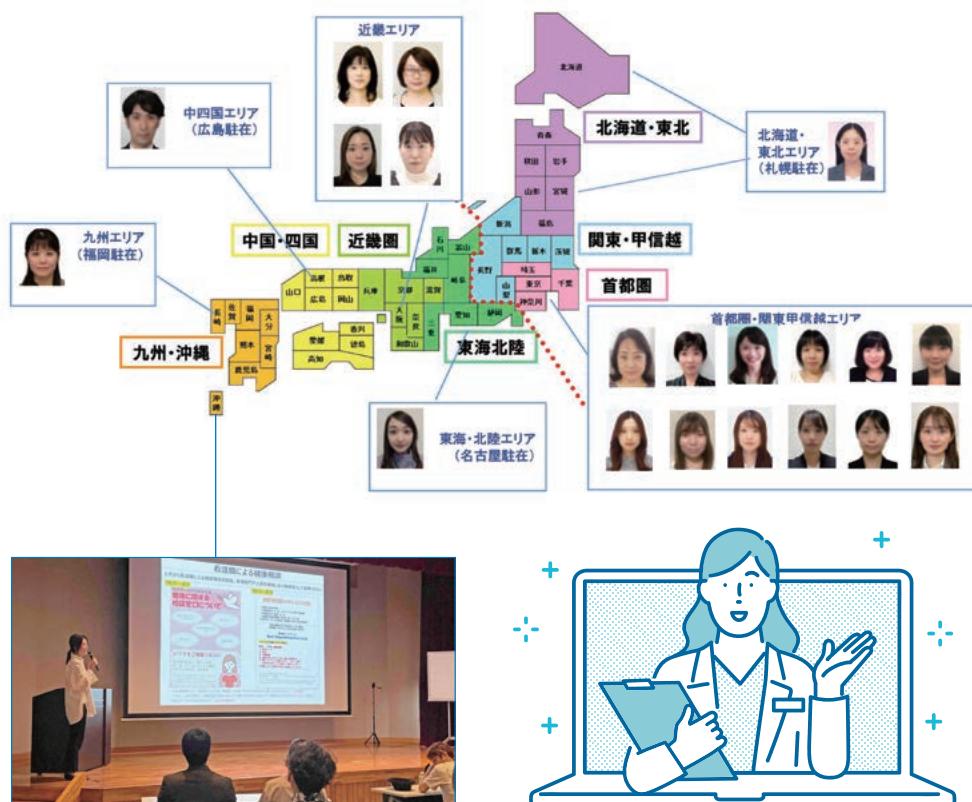
項目	2023年実績	2030年目標
健康診断受診率	100.0%	100%
再検査・精密検査受診率	91.1%	100%
運動習慣	55.5%	80%
食生活	67.9%	80%
睡眠	75.2%	90%
禁煙	83.1%	95%
DRINK SMART	65.9%	90%
項目	2024年実績	2030年目標
ストレスチェック受検率	94.5%	100%
非高ストレス判定率	92.8%	95%

サントリーの健康を支える基盤活動

グループ全体の健康支援

サントリーでは、会社の規模や所属組織、勤務地に関わらず、サントリーグループの従業員であれば、みんな同じレベルの健康施策を受けて欲しいという思いから、グループ健康推進センターが基軸となり、国内グループ約2万人を対象に取組みを展開しています。

また、会社や地域ごとに担当の看護職を配置し、健康関連窓口を明確にすることで、従業員の安心感を醸成、かつ各医療職との円滑な連携を生み出し、グループ企業の健康増進を強力に推進しています。



担当看護職制　社員と1対1の健康面談

サントリーでは、従業員からの健康相談の窓口として、従業員一人ひとりに担当看護職がつく「担当看護職制」を取り入れ、日ごろから担当看護職が健康情報を発信、いつでも希望相談にのる体制を整えています。また、担当看護職と従業員の直接的な接点として、1対1で面談する「健康面談」を定期的に実施し、より気軽に相談しやすい関係を構築し、心身の不調の早期発見、および健康リテラシー向上に役立てています。

健康面談実績

- ▶ 2023年実施者数:
- ▶ 施策満足度: (大変)良かった
- ▶ 内容理解度: (よく)理解できた

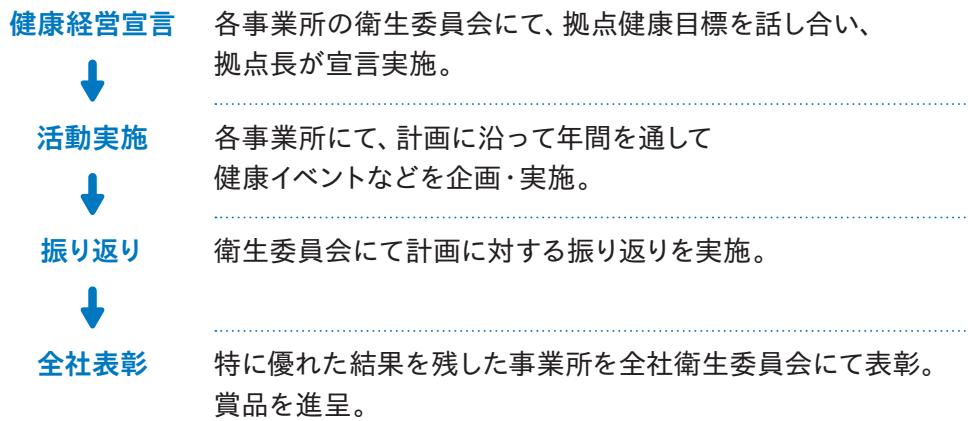
3,890名
93.2%
99.7%



サントリーの健康を支える基盤活動

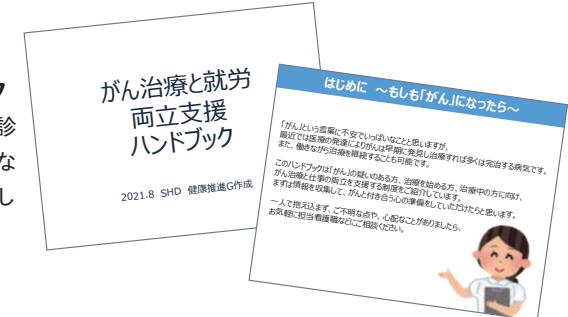
事業所ごとの健康づくり活動のPDCAサイクル

全社の方針に沿って、事業所ごとの衛生委員会にて事業所別健康目標を設定し、各事業所が自律自走して健康に取組む体制づくりをしています。



病気と仕事の両立支援体制 両立支援に向けた取組み

不調者に対しては、産業医、メンタルヘルス専門医、臨床心理士などの医療専門職と上司・人事担当者が連携し、しっかりと回復を促す両立支援の体制づくりをしています。



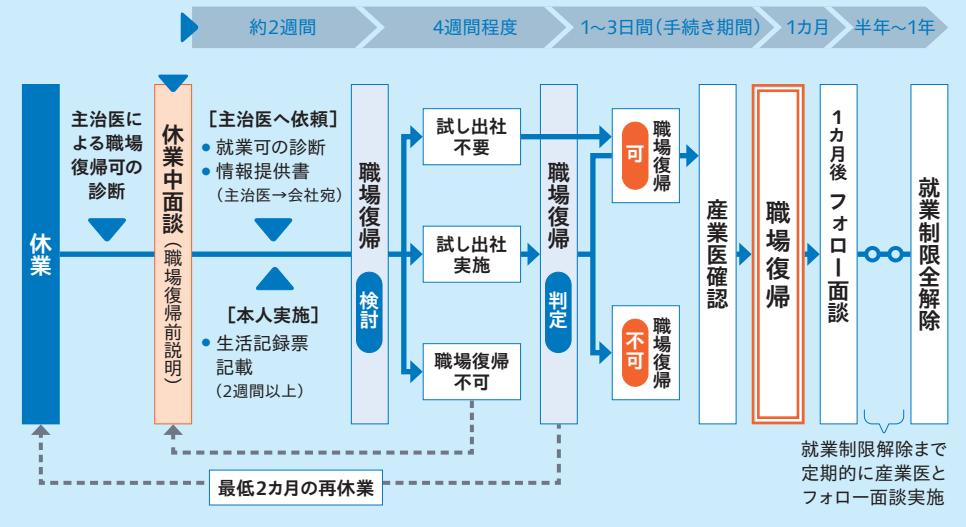
がん治療と就労の両立支援ハンドブック

早期発見のために重要ながん検診や二次検査受診率向上に取組むと同時に、従業員が不安なく必要な治療を受け、仕事との両立を支援する制度を紹介しています。

休業・復職支援

ゴールを単に職場に戻ることではなく継続して働くことに据えて、安全な復職に向けたフォローアップ体制を徹底しています。

職場復帰のフローとフォローアップ体制



生活習慣改善に向けた取組み

目標 運動習慣のある従業員の割合: 80%

運動習慣定着に向けた「Activeプラス10宣言」

従業員が自ら「日常生活におけるプラス10分の身体活動の取組み」の目標を宣言する「Activeプラス10」を全従業員対象に実施し、運動習慣の動機付けをサポートしています。

- 参加者数・参加率: 6,724人・80.0% (2024年7月時点)
- 従業員の宣言例:

宣言 「お昼休み食堂まで階段で上ります」
宣言 「工場内の移動時に車を使用せず徒歩にします」



社内SNSへの投稿キャンペーンを定期的に実施。個人の取り組みのほかに、職場の仲間と声を掛け合って取り組んだ内容を投稿する“チーム投稿”も。お互いに刺激し合いながら、モチベーションを高められる環境づくりをしています。

社内SNSの投稿例



「お揃いユニフォームで登山トレ!頂上からの景色はサイコー!」

「隙間時間に+10秒悪い姿勢をリセット!業務効率を上げることが狙いです!!」



「これ結構キツイのでオススメです!」歯磨き中に片足上げでヒップアップ

効果的なエクササイズへつなげる「体組成測定会」

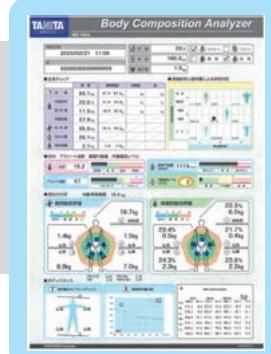
定期健診時に内臓脂肪・骨量・筋肉量などの身体組成を測定し、プロの運動指導員より個別アドバイスを実施しています。自分に必要なエクササイズが何か、そしてその成果を数値化し管理することができます。

- 参加者数: 32会場・4,011人
- 参加者の声:

「数値化されると足りないところが良く分かります」
「アドバイスを受けて実際ジムに通い始めました」

イベント参加後の意識の変化

運動への意識が向上した: **44.7%**



食生活改善の取組み

目標 朝食摂取率: 80%

取組みの課題・背景

若年層を中心に、30%以上の従業員が朝食を欠食しているという課題を受け、2ヶ月間の朝食支援トライアルプログラムを実施しました。



トライアルプログラム概要

● 内容

朝ごはんTime(5:00~9:30)に購入で、半額を補助

● 対象アイテム

手軽で朝食に適した健康志向のアイテムを選定

パン(完全栄養食) / ナッツバー

● 実績

プログラム参加人数: 17拠点 342名

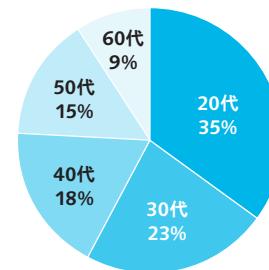
購入数: (パン) 1,064個 (ナッツバー) 656本



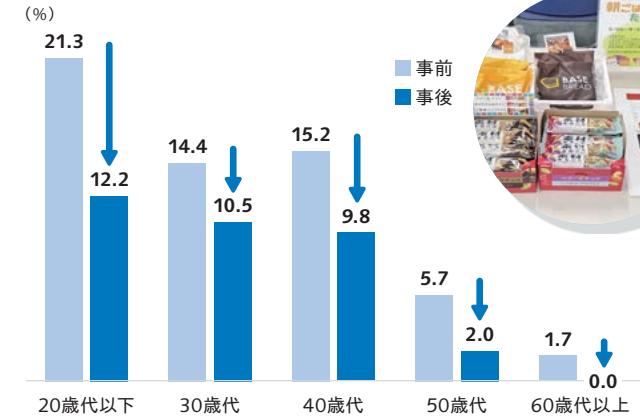
トライアル結果

朝食欠食率が高い若年層(20~30代)の利用率が半数以上という結果。また、朝食を食べていなかった従業員のうち6割以上がトライアルを通して朝食を摂るようになり、全世代で朝食欠食率が低下しました。

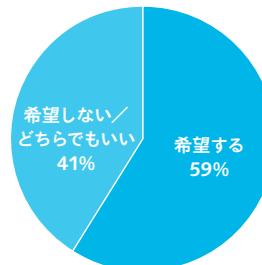
利用者の内訳(年代別)



朝食を食べない人の割合変化(事前・事後比較)



朝食支援の継続について



参加者の声

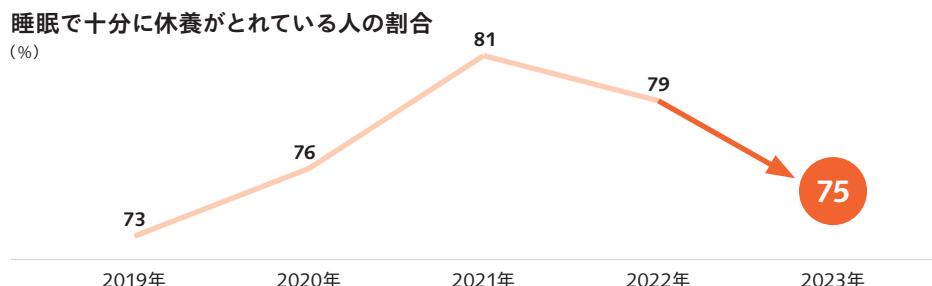
「朝食が習慣化し、午前中の仕事のパフォーマンスが向上しました。(営業・40代・男性)」

「朝食を摂ることで、昼食後の眠気がなくなり、生活のリズムが整ったように感じます。(スタッフ・30代・女性)」

生活習慣改善に向けた取組み

目標 睡眠で休養がとれる人の割合: 90%

取組みの背景・課題認識



コロナ禍をきっかけに変化したライフスタイルが元に戻り、「睡眠で休養がとれているか」という問診項目について改善傾向だった前年から一転し、悪化の傾向が見られる。

2024年トライアル企画の概要

①ぐっすりセミナーの開催

9月3日を「ぐ(9)っす(3)りの日」と定め、あらためて「睡眠の大切さ」を伝えるぐっすりセミナーを、サントリー国内グループ会社対象に開催。



初代「セサミン」開発者
SWE_ウエル品質部
農学博士 エキスパート
新免 芳史

②1ヶ月トライアルプログラムの実施

- 健康食品「快眠セサミン」を1ヶ月間トライアル飲用
- 期間中、対象者に良質な睡眠をとるための情報提供を定期的に実施



睡眠対策 眠れる体質づくり



③プログラム前後で睡眠に対する感じ方を調査

トライアル企画の効果

2024年

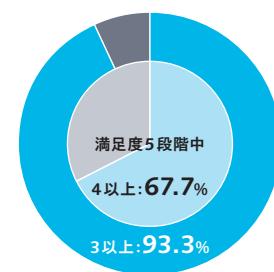
セミナー参加者: 1,287人 参加会社数: 42社
アンケート回答者・回答率: 1,066人(82%)

トライアル期間には、継続的にサプリメントを摂取し睡眠を意識することで、睡眠だけではなく、生活習慣全体に対する意識が高まったという声も寄せられました。

参加者からの声

- 「寝つきがよくなり、熟睡感が増した」
- 「飲用前より、目覚めのスッキリ感を感じ、疲労が軽減された」
- 「改めて睡眠・睡眠の質の大切さを意識するようになった」
- 「睡眠の質を上げるために、日常生活(飲酒頻度・就寝時間・運動等)にも気を遣えるようになった」

トライアル企画に対する満足度

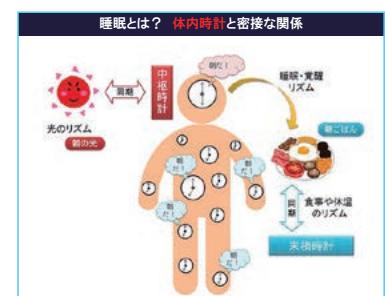


※ 2023年トライアル時のアンケートより

今後の展開

さらに対象者を拡げ、20代、30代も含めた幅広い層にアプローチを行う。

また毎年9月を「睡眠月間」と設定し、インストラ、サイネージ、メールマガジンなど、あらゆる社内媒体で睡眠に関する情報を発信し、社員が情報接点を持つ機会を創出、睡眠への意識付けを支援する。



メンタルヘルスの取組み

目標 非高ストレス者の割合: 95%

ストレスチェック職場分析フィードバック

従業員のストレス要因軽減や不調の未然防止とともに、生産性の高い職場づくりを目指し、部門長・各人事部門へストレスチェックの職場分析フィードバックを実施。

職場ごとの結果を配布し、フィードバックシートの読み方を学ぶ説明会を開催しました。

上司向け説明会

全4回 263人参加

人事部門向け説明会

全24回 グループ24社参加

総合健康リスクの数値だけでなく、ストレス要因・ストレス反応・修飾要因についても丁寧に説明を行い、様々な角度で自部署の結果を理解できるよう説明しています。



参加者からの声

「総合健康リスクの数値は低い一方で、ストレス反応で数値が悪い項目があるため、メンバーの日頃の様子を注視していきたい」（営業拠点・男性）

「組織風土調査で課題があった部署は、ストレスチェックでも数字に表れていた。引き続き丁寧にフォローをしていく」（人事部門・女性）

セルフケア

ストレスへの気づきや対処法といったメンタルヘルスの基礎知識を動画を通して学び、一人ひとりが適切に対応できるようeラーニングを実施しています。

また、年1回のストレスチェックに加え、年3回のセルフチェックを実施し、定期的に自身の状態を確認することでセルフケアを促しています。

- セルフケアeラーニング実績
実施者数: 8,553人 / 実施率: 96.8%

- ストレスチェックにおける高ストレス者割合
2022年: 8.2% / 2023年: 8.1% / 2024年: 7.2%

メンタルヘルス不調について正しいのはどちらか○・×を選んでください。

Q3 メンタルヘルス不調はきっかけが重なれば誰でも起こり得る

答えは①
メンタルヘルス不調は「心の風邪」と称されるほど誰にでも可能性があり、人のまちででも人一人かからぬで起こります。

仕事のストレスだけが不調の要因になりますわけでもありません。
複数の要因が絡み、ストレス緩和する要因とのバランスが崩れると不調へ進んでしまうことがあります。

だからこそ、隣人や組織でいる人などストレスを和らげるための要因を日々から見つけ、行動できることが大切です。



ラインケア

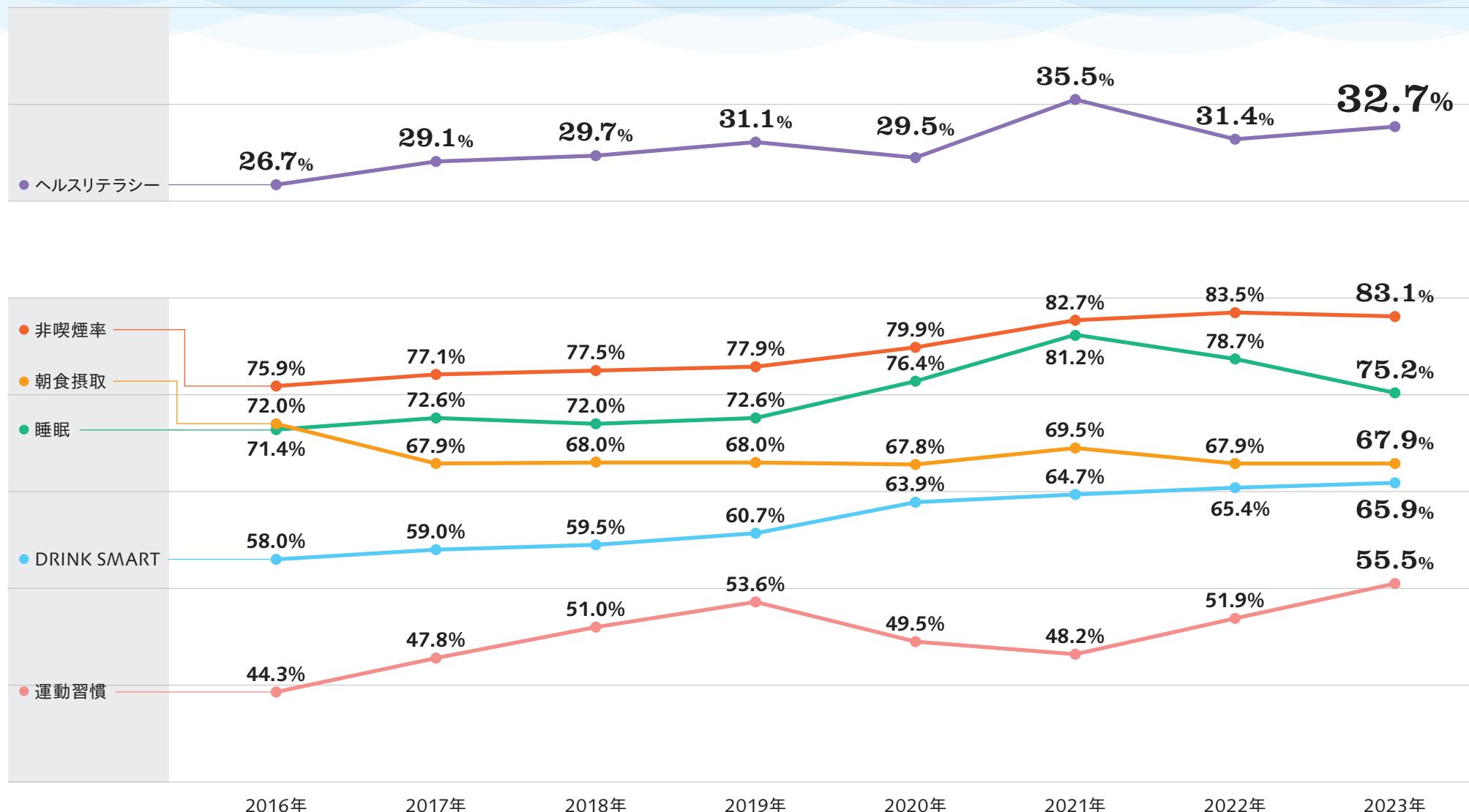
ラインケアでは、新任マネジャー研修でマネジャーの役割を伝えるとともに、管理者ハンドブックの配布や定期的なeラーニングをとおして、マネジャーがメンバーの心身の健康に目を配り、適切な対処ができるよう努めています。

- ラインケアeラーニング実績
実施者数: 1,725人 / 実施率: 93.2%

「いつもと違う」状況に比べて何が違うか
「以下の状況が何が違うか」などと質問なのですが、平野トヨタ「何が違う」と質問で早く答えることです。
「いつもと違う」と尋ねるのは、誰が「いつも」とは異なる行動を取るのです。
だからこそ、隣人や組織でいる人などストレスを和らげるための要因を日々から見つけ、行動できることが大切です。



生活習慣の推移



※ 各項目は健康診断の問診結果から集計

ヘルスリテラシー:「運動や食生活などの生活習慣を改善してみようと思いますか」の間に「既に改善に取り組んでいる」と回答した人の割合

朝食摂取:「朝食を抜くことが週3回以上ある」の間に「いいえ」と回答した人の割合

睡眠:「睡眠で休養が十分とれている」と回答した人の割合

DRINK SMART: お酒を飲む頻度が「毎日」と回答した人以外の割合

運動習慣:「週2回30分以上の軽く汗をかく運動を1年以上実施している」または「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している」と回答した人の割合

コラボヘルスの取組み

健保と会社が協働する「特定保健指導」

サントリーでは、2017年よりコラボヘルスの取組みとして、国から健保に実施が義務付けられている特定保健指導を健保と会社側で協働実施しています。

協働取組みのポイント

● 指導開始前のマインドセット

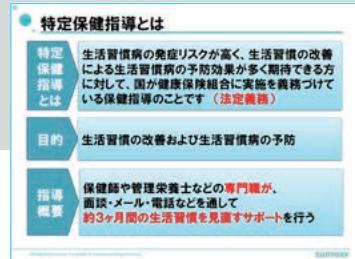
統括産業医のビデオや資料を用い、特定保健指導の意義と目的を分かりやすく説明しています。

● 将来予測「からだ未来レポート」の配付

一人ひとりの健診結果から将来の病気のリスクを数値化した「からだ未来レポート」を面談時に配付し、気づきのきっかけを提供しています。

● 自社健康飲料の活用

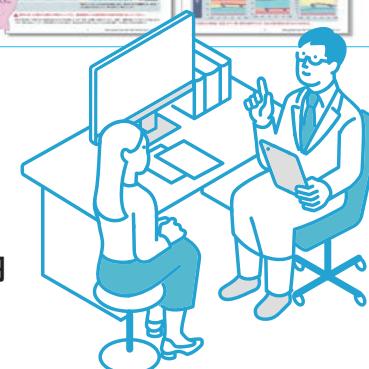
指導対象となった従業員には、自社の特定保健用食品・機能性表示飲料を配付。指導と並行して毎日飲用することで生活習慣・数値改善への意識を高めています。



2023年度 特定保健指導実績

- 従業員実施率：73%
- 従業員参加者数：1,334人
- 従業員向けの施策投資額：54百万円

※2023年新規加入会社分は除く

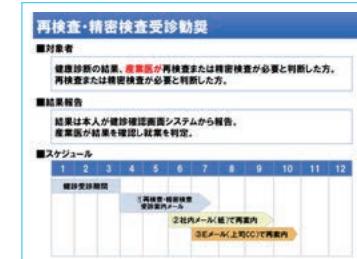


重症化予防の取組み

要二次検査・要治療者への受診勧奨

健診結果で要二次検査・要報告と産業医が判定した対象者に対しては、担当産業医・看護職による受診勧奨を、必要に応じて上司も巻き込みながら実施しています。

受診勧奨後には、健保でのレセプト情報に基づき、受診・治療開始の状況についての確認を行い、更に勧奨を行う等、重症化予防に向けて受診勧奨を徹底したスキームづくりをしています。

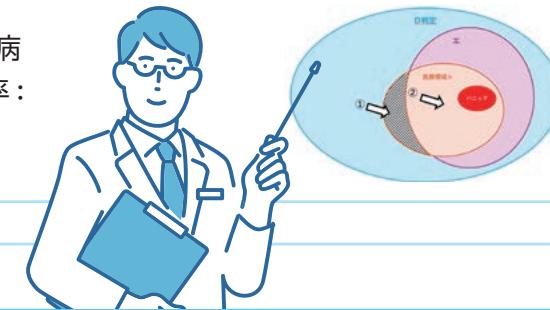


段階的な二次検査受診勧奨

▶ 2023年度 生活習慣病

ハイリスク者の治療率：

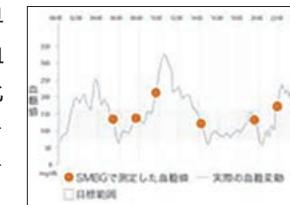
75.8%



重症化予防支援

サントリー健康保険組合では、重症化予防指導に力を入れています。特に血糖値改善に力点をおき、血管疾患のリスクのある人や糖尿病の進行により人工透析などのリスクのある人を対象に、かかりつけ医と連携しながら食事や運動後の血糖変動が体感できる研修施設での宿泊型プログラムを実施してきました。

最近は対象を軽度の早期腎症予防まで拡大し、血糖値変動を常時見える化する「FreeStyle リブレ」を使ったリモート型の指導を実施しています。



OneSuntory イベント

One Suntory Walk

2017年より、毎年10月の1カ月間、世界中の従業員が参加するウォーキングイベントを開催しています。チーム対抗や個人対抗などで盛り上がったり、自分の状態に合わせて目標を立てたり、様々な楽しみ方で、世界30カ国以上から、毎年多くの従業員が参加をしています。また、参加人数に応じて、水に関わる環境保護団体に寄付することで、社会への貢献も進めています。

2023年結果

参加人数: **7,538人** 総歩数: **13.49億歩**
(1,028,203km)

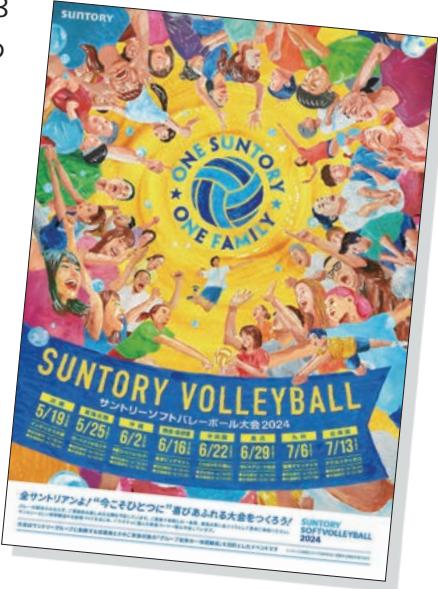
参加国数: **30カ国** 寄付額: **75,380USD**
(寄付先: CharityWater)



サントリーソフトバレーボール大会

2024年は北海道から沖縄まで全国8カ所で実施し、参加人数はご家族を含めて21,407人に達しました。今年のテーマは「ONE SUNTORY One Family」。チーム対抗でソフトバレーボールのトーナメント戦を行い、サントリアン同士がスポーツを通じて親交を深め合うことができるイベントです。

また、会場を回って健康に関する体験をする「健康アクションスタンプラリー」や、子ども向けのバレー教室など、従業員だけでなく、ご家族も楽しんでいただけれる内容となっています。



トピックス



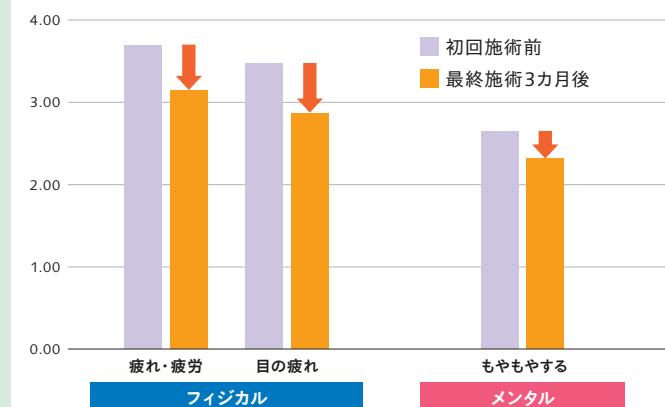
ヘルスキーパーの取組み

集合拠点にヘルスケアルームを設置し、専属のヘルスキーパーによるマッサージを通じて、従業員の心身のリフレッシュをサポートしています。

従業員アンケートによる効果検証により、身体だけでなく精神的疲労に対する効果、また作業効率（生産性）が向上したという効果も見られました。学会においても発表し、今後の健康経営のロールモデルのひとつとなるように、さらなる取組みを展開していきます。



結果 身体的・精神的疲労に対する効果



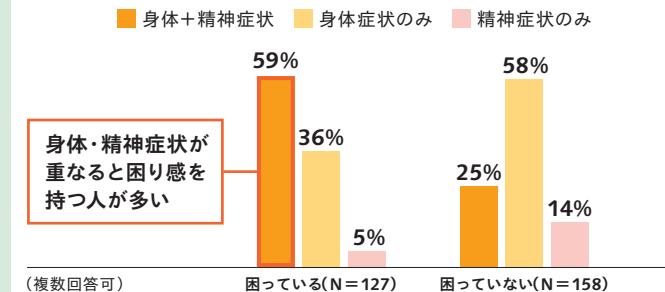
女性健康課題への取組み

サントリーでは2021年より「働く女性の保健室」を立上げ、女性の健康支援に特化した取組みを実施しています。

2023年には従業員8,517名を対象に実態調査を実施し、産業衛生学会全国協議会にて「就労女性の更年期障害の実態と理解についての調査報告」として学会発表実施。またその内容を受けて全社向けの更年期セミナーを開催しました。今後も更年期世代の女性だけでなく、社内全体で更年期の理解を深めるような情報提供を行い、相談しやすく適切な治療を受けやすい環境づくりに取組んでいきます。



更年期症状の種類(身体・精神)



組織の課題を把握する「健康ダッシュボード」の導入

サントリーでは2023年より、従業員の健康について、正確でタイムリーな現状把握・分析をし、素早い意思決定につなげるためのツールとして「健康ダッシュボード」を導入しています。国内グループ会社の従業員2万人以上のデータを見る化し、経営トップや、人事担当者、健康管理部門が共通認識を持ちながら健康経営を推進しています。



データを見る化

- ① 健診受診状況
 - ② 二次検査受診率
 - ③ 有所見率
 - ④ 生活習慣問診サマリ
 - ⑤ 健康施策参加率
- 等のデータを毎月集計し、会社単位、組織単位、拠点単位といった切り口で各担当者に開示。

① 健診受診状況



② 二次検査受診率



③ 特保率・有所見率サマリ

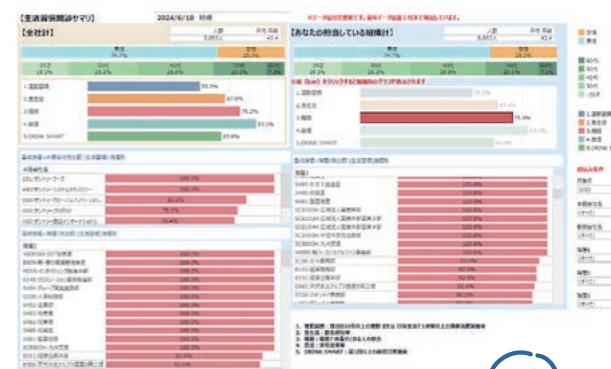


④ 生活習慣問診サマリ



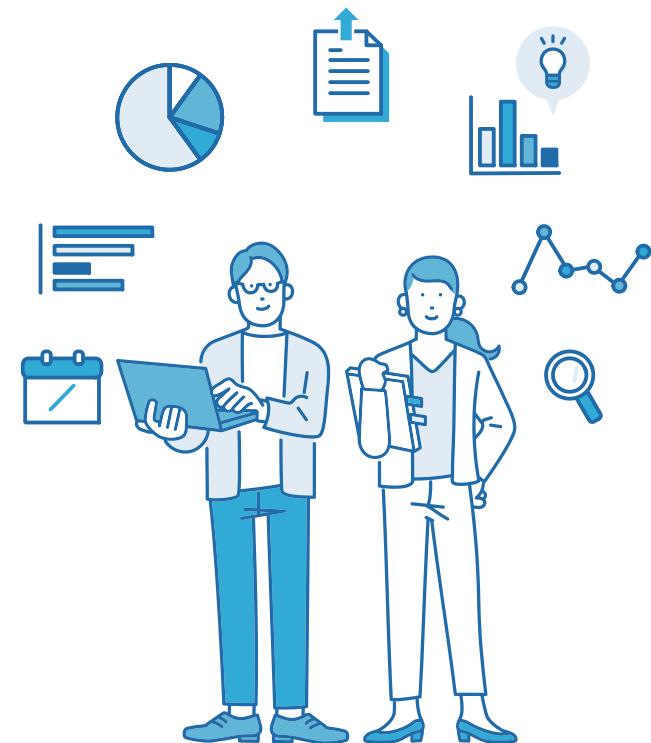
分析・課題抽出

産業保健スタッフと健康推進担当者、各社の人事担当者などが月次でデータを確認。一次健診や二次健診の受診状況進捗をはじめ健康の課題を即時に把握します。

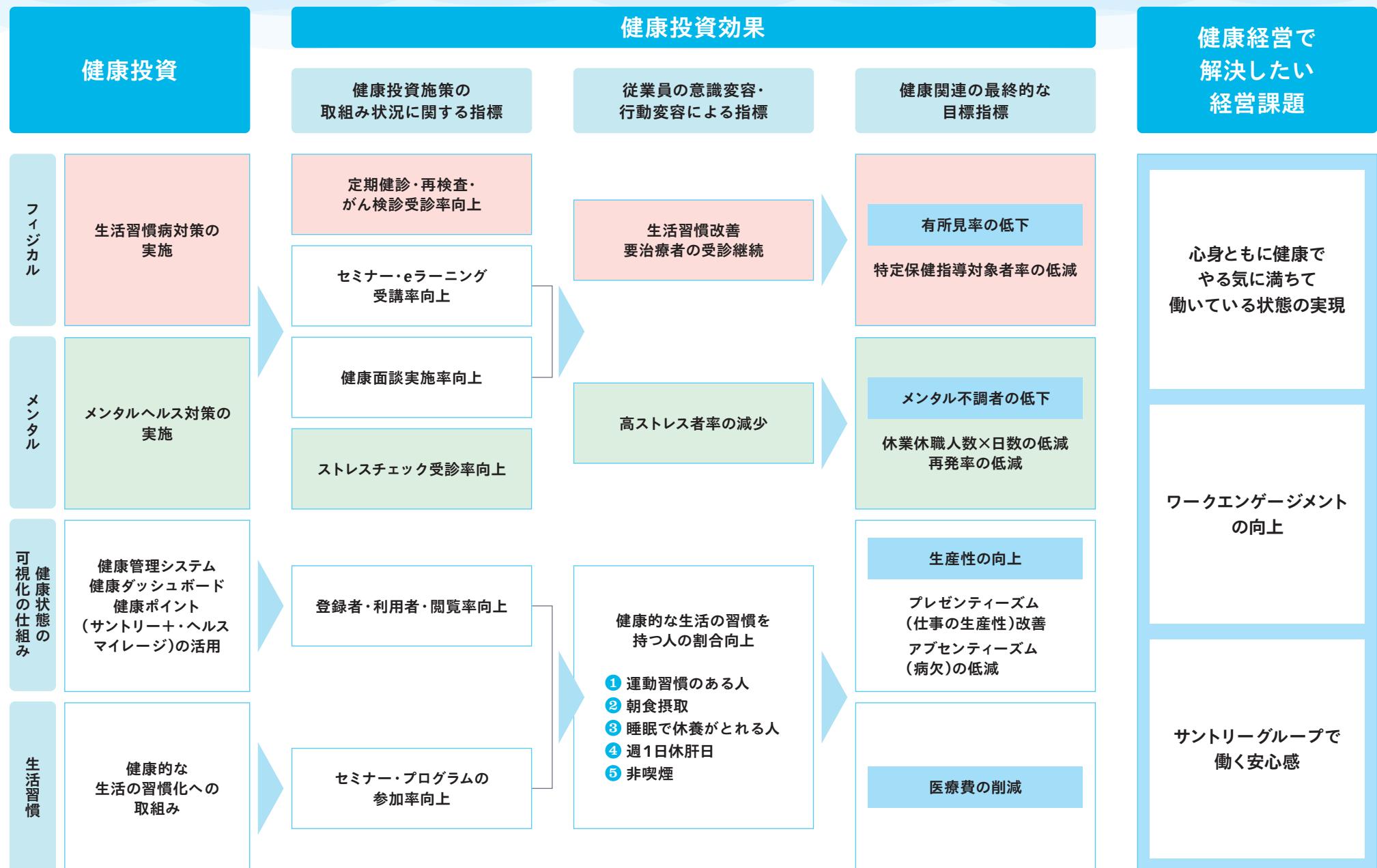


アクション

月次の会議体などを通じて、組織ごとの課題について話しあい、課題に即応した健康施策を立案、実施につなげます。



健康経営戦略マップ(取組みの全体像)



社会の「健康」への貢献

DRINK SMARTの取組み

～お酒に関する正しい知識を啓発 海外を含め幅広く社会の健康を支援～

サントリーでは、お酒の正しい知識を持ち、お酒と楽しく上手に付き合って豊かな生活を送ることを「DRINK SMART」と呼んでいます。

従業員が実践することはもちろん、酒類を製造・販売する企業の責任として、従業員がセミナーを企画できる体制を整えており、社会への働きかけの活動も積極的に展開しています。



～取引先や大学にて幅広い年代を対象に DRINK SMARTセミナーを開催～

酔いのメカニズムや適量のめやす、おすすめのお酒の飲み方の紹介を通じて適正飲酒の大切さを伝えています。取引先の新入社員をはじめ新たに大学でも開催し、2023年にはのべ12,000人以上の幅広い年代の方に受講いただきました。

海外でも啓発活動を行っており、アメリカのケンタッキー大学では、学生に向けた適正飲酒啓発セミナー「Learning Bar」を実施。年間1,300人の学生が参加しています。セミナーでは、1杯のドリンクにどれくらいの純アルコール量が含まれているかを計算したり、酔いつぶれた人の介助方法等を説明しています。



地域を支える「Be supporters！」

Be supporters!



サントリーウエルネスでは、高齢者や認知症の方など、普段は周囲に「支えられる」機会の多い方が、サッカークラブの“サポーター”となることで、クラブや地域を「支える」存在となることを目指す活動「Be supporters!（略して、Be サポ！）」を推進しています。2020年12月にJリーグの複数のクラブと協働して活動をスタートし、これまでに全国約230の高齢者施設・のべ1万人が参加するまでに広がっています。

誰かを応援することで人と地域につながりが生まれ、心身ともに元気になることを目指して…。いくつになってもワクワクドキドキする、そんな当たり前の願いを形にする活動です。

『107歳のサポーター』

2023年11月には、全国のBe サポ！参加施設から集まった感動の物語を表彰する「人生100年時代の物語大賞」を初開催。「107歳のサポーター」をはじめとする5つの作品が受賞しました。



社会の「健康」への貢献

「GREEN DA・KA・RA」熱中症対策啓発活動

～学校・企業でのセミナーを通した啓発活動を展開～

サントリー食品インターナショナルでは、熱中症対策の啓発活動の一環として「GREEN DA・KA・RA」を通じたさまざまな取組みを展開しています。

小学校での啓発活動

熱中症対策啓発リーフレットを全国の小学校(約5,400校・23万部)へ無償提供しています。

また、授業を通して熱中症対策を楽しく学べるオリジナル教材を開発し、希望する小学校(約250校・23,000人)へ製品とともに無償で提供しています。



子どもの熱中症対策啓発活動

「こども気温」

ウェザーマップ社との共同検証により、地面からの距離が近く照り返しの影響を受けやすい子ども特有の暑熱環境を「こども気温」と名付け、2023年7月から店頭ポスターの掲示や啓発イベントなどによって、子どもの熱中症対策啓発活動を一層強化しています。



「GREEN DA・KA・RA」(左)

「GREEN DA・KA・RA やさしい麦茶」(右)

企業向け熱中症セミナー

希望する取引企業に対して、オフィスにおける熱中症発生の危険性や予防方法についてのセミナーを2016年から継続して実施し、企業の健康経営をサポートしています。

●2024年1~6月実績: **191** 事業所



社会の「健康」への貢献

健康経営取組み支援サービス「SUNTORY+」

企業の「健康経営」をサポートするヘルスケアサービス



従業員が主役の健康経営サービス

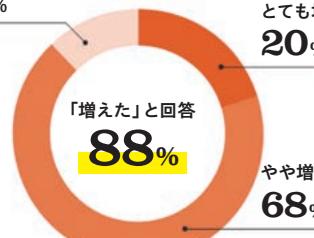
従業員アプリ × 健康飲料 × 人事管理画面





導入からご利用まで 0円

Q. 健康によい行動をすることが増えましたか?



従業員の88%が行動変容を実感

「増えた」と回答 88%

やや増えた 68%

とても増えた 20%

増えなかった 12%

※ 調査対象者: サントリープラス導入A企業従業員様
調査対象人数: 222人
調査対象期間: 2021年8月~2021年11月

導入後6カ月後も2人に1人が続けられています

※ 調査対象人数: 13,786名(対象期間中の全ユーザー)調査対象期間: 2023年9月1日~2024年2月29日 サントリープラスアプリ利用データより抽出(当社にて実施)
※ 継続の定義: 月1回以上のアプリ起動
※ Adjust Global App Trends 2019レポートより(調査期間: 2018年1月1日~2018年12月31日 adjust 株式会社による調査)

**1,000社以上で導入いただき、サントリー習慣化
メソッドが健康行動の継続を支援しています**

※2024年9月時点

対外活動を通じた「健康に対する貢献活動」

▶ 利用法人の担当者交流会 —SUNTORY+交流イベント2023の開催—

ご利用者同士のワークショップ

終了後懇親会を通して情報交換



サービスを通じた双方向のコミュニケーションにより、各企業との取組みを深めています

▶ 産業保健分野の方々との交流 —日本産業衛生学会 全国協議会実地研修—

登美の丘ワイナリー内の巡回

サントリー健康経営活動の紹介



各方面の有識者とともに「従業員が主役の健康経営」という考え方・在り方の浸透を図っています

SUNTORY



<https://www.suntory.co.jp/company/peopleculture/>

「健康経営銘柄2024」に選定

サントリー食品インターナショナル株式会社、並びに上場企業ではないサントリーホールディングス(株)などサントリーグループ8社※は、健康経営に先進的な企業として「健康経営銘柄2024」に選出されました。

また「健康経営優良法人2024～ホワイト500～」は8年連続で認定を受けています。

※ サントリー(株)、サントリーウエルネス(株)、サントリーグローバルイノベーションセンター(株)、サントリーシステムテクノロジー(株)、サントリービジネスシステム(株)、サントリーフーズ(株)、サントリープロダクツ(株)、サントリーホールディングス(株)の8社(五十音順)

